

一般社団法人日本インテリアファブリックス協会 第25回通常総会を開催 窓装飾プランナー育成を強調

一般社団法人日本インテリアファブリックス協会(NIF)は、5月14日に第25回通常総会を東京神田の如水会館で開催した。総会は、平成25年度事業報告・26年度事業計画等を審議、両議題とも執行部提案どおり可決承認され、恙無く審議を終えた。

今回は、NIF創立35周年に当たることから、同会は総会に続けて記念講演会と懇親会を同会場で行った。講演会は、「消費税増税後の日本経済の展望」と題した岸博幸氏の講演で、午後4時から5時15分まで行われた。講師岸氏は、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授で、現在、テレビ朝日「グッド！モーニング」のコメントーター等としても活躍されている。

懇親会は講演会に続き5時30分より同会場で開催された。開会に当たり、同会会長吉川一三氏は、新規事業として推進している「窓装飾プランナー制度」にふれ、窓装飾のスペシャリストが登場することで、窓装飾材が、廉価品が多い状態から、高級・高価な装飾材の市場へと産業を変換させることも期待できると、事業の重要性を強調した。先ごろ刊行した「窓装飾プランナーBOOK」も予想以上の売れ行きで、同制度に寄せられる関心度も高い。当業界は、資格を取得したプランナーを大切に育て、高級・高品質の窓装飾を発展させることが大切である。そのため、各位のご協力をお願いしたい旨述べた。また、同会が女性の自立支援活動として、ヨルダンにカーテン生地を寄贈したが、本日、わざわざ大使夫人が礼を言いにおいでくださったと述べ、大使夫人を来場者に紹介した。

壁装新聞(第411号)より引用